

太田郷小は 創立 150 周年！



笑顔いっぱい

－太田郷小学校だより－

R6. 12. 24

No. 8

文責 大住



人とつながる子供たちに

24日(火)に、第2学期の終業式を行いました。

8月26日(月)から始まった2学期は、2日間台風による休校がありましたが、80日余りの授業日数でした。

この間、運動会に向けた取組や見学旅行に向けた取組、5年生は集団宿泊教室、6年生は修学旅行と大きな行事に向けた取組をとおして、それぞれの学年の子供たちが成長しました。

保護者の皆様のご協力たいへんありがとうございました。

さて、2学期の始業式の際に、子供たちに、こんな太田郷小にしようということを伝えた中の一つに、「なかよしたくさんの太田郷小にしよう」ということがあります。

アンケートで「クラス全員のいいところを、言葉にして言うことができる」と回答した子供が、1学期末は72.1%でしたが、今学期は、5.5ポイント増えて77.6%になりました。

学校は、教科等の学習をする場であると同時に、授業や休み時間、行事や当番の仕事などの教育活動をとおして、子供たちの「つながり」を育む場でもあります。異なる見方や考え方にふれて、自分の見方や考え方を広げたり深めたりしていくことは、学校教育の特徴でもあります。

周りの人のいいところや頑張っているところに気づくことができる子供たち、周りの人から学ぶことができる子供たちを、引き続き育てていきたいと思っています。

持久走をがんばりました



今月は、各学年とも持久走大会が開かれました。

運動場から校舎の周りを周回するコースを、それぞれの学年に応じた距離を走りました。低学年が、無理のない速さでの駆け足を2～3分、中学年が3～4分、高学年が5～6分程度が目安です。

一定の速さで走り続けることは、体力や心肺機能が高められるだけでなく、自分の目標タイムに向けて取り組む粘り強さや、達成した際の充実感も感じることができます。

そして、もう一つ大きな良さだなと感じたことは、頑張っている友達への声援があちこちから聞かれたことです。速いか遅いかではなく、頑張っている姿を見つけることができることは、素敵なことだと感じました。

周りの人の頑張りに対するこのような優しい気付きは、きっと他の場面でも発揮されるのだらうと思います。

※ 平日にもかかわらず、子供たちの応援にお越しいただいた皆様、ありがとうございました。